

組合ニュース

発行：2017年1月13日

大分大学教職員組合

TEL・FAX：097-554-7998

E-Mail:oitau@fat.coara.or.jp

教員の人事凍結を含む 人件費抑制策に対する申し入れ

国立大学に対する運営費交付金の継続的な削減等により、国立大学法人では教員の人件費抑制策が進みつつあります。全大教が実施した調査でも、すでに部局単位で定年後ポストを一定期間不補充とする等の措置をとり、教員数を削減している実態があり、これまでにない大規模な教員人件費抑制策を打ち出す大学が多数あることが分かりました。

組合は、1月12日に大分大学学長に対し、「教員の人事凍結を含む人件費抑制策」に対する申し入れ書を提出し、教育研究の質を落とすような教員の新規採用や昇任の凍結を行わないよう要望しました。申し入れ内容は以下のとおりです。

2017年1月12日

大分大学学長
北野 正剛 殿



大分大学教職員組合
執行委員長 芝原 雅彦

「教員の人事凍結を含む人件費抑制策」に対する申し入れ

法人化後の人件費について、定員という概念がなくなったものの、運営費交付金の総枠に毎年節約分が課され減じられています。一方で、教職員の業務は年々複雑かつ多岐にわたるようになり、1人あたりの業務量は増加しています。

このような中、人件費管理算定方式の見直しが計画されていると聞き及んでいます。ついでには人件費抑制を理由とした教員の採用および昇任人事の凍結が行われることがないような制度設計を行い、教育研究を保障する柔軟な運用を行うように以下の点を申し入れます。

1. 教育研究の質を落とすような教員の新規採用や昇任の凍結を行わないこと。
2. 法人は人件費抑制の必要性および仕組みの背景について説明責任を果たすこと。

なごみカフェ報告 — エスキモーの食卓 —

エスキモーの調査がご専門の、経済学部の久保田先生に「エスキモーの食卓」というタイトルでお話していただきました。現在では私たちと同じような食事を食べるようになったエスキモーですが、今でも食卓にはエスキモーの伝統的な食事が上るということで、アザラシの肉やオイルといった食材や、生のもの・煮るものなどの調理法、また大人数で食べる食卓の様子など、あまり日本人になじみのないエスキモーの食事が、楽しい写真とともに紹介されました。当日は、久保田さんの食事さながらの味わいのある語り口のおかげで、のべ15名にのぼる参加者をむかえることができました。これからも、職員の方の憩いの場・なごみカフェをご期待ください。

